鬼石中だより

自立・貢献
藤岡市立鬼石中学校
令和5年度学校だより　第9号
令和６年１月１５日
文責：校長　永田

＊ 3学期が始まりました、2024年もよろしくお願いいたします ＊

３学期の始業式は、まず、２０２４年元日の夕刻に起きた能登半島地震について生徒とともに考えました。数多くの家屋が倒壊し、１月８日の時点で１６０人以上の死者、３００名以上の安否不明者、２８０００人の避難者が報告されています。道路は寸断され、救助や支援が届かない状況にもあるとも聞いています。そして今なお余震が続いている状態です。津波を伴う最大震度７以上の地震は、１３年前の東日本大震災以来のものとなりますので、生徒にとってはほぼ初めての出来事ということになります。私達に何ができるのか、そこから何を考えるべきなのか？大切なのは自分ごととして考えることなのだと思います。

その後、「一年の計は元旦にあり」「夢や目標をもとう」という話をしました。ちなみに私は、「知：一日10分以上の読書」「体：一日10分以上のトレーニング」「徳：一日10回以上の『いいね！』」（いいね！とは、ありがとうなどの感謝の気持ちを表現する）を行動目標にすると宣言しました。これは、あくまで自分を磨くためのもので職務以外の内容になります。生徒はもちろんですが、何歳になっても、もちろん大人になっても、夢や目標を持っていたいですね。なぜなら、「人生に夢があるのではなく、夢や目標が人生をつくる」のですから。

＊ 校内書き初め大会（1/9）＊

校長が、太鼓を10回打ちます。その太鼓の音を聴きながら気持ちを整えます。いよいよ書き初め大会の始まりです。静寂に包まれた体育館で、みんな集中して書き始めました。書き初めの文字はお手本から自分で選びます。集中して、思いを込めて、一筆一筆ていねいに書きました。

体育館での書き初め大会

＊ お弁当の日（1/9）＊

年末に実施した竹下先生を招いての講演会を受け、今年度3回目の弁当の日を実施しました。弁当の日は、本校の教育目標である『自立』を育むことを目的とし、テーマや見栄えを気にするのでなく『自分で作る』ことを大切にしています。

今回は、全校生徒、教職員が一堂に会して、記念撮影、自分の弁当づくりで頑張ったところを発表した後「いただきます!」をしました。みんな笑顔で楽しい時間を過ごしました。

”自分で作る弁当の日”

＊ 2年立志ウォーク（1/12） ＊

出発前に円陣で気合いを入れました

元服にちなんで、数え歳の15歳である中学2年生が改めて志を立てる機会とする行事です。一昨年度からマラソンでなく**「ウォーク」**という形で実施しています。

本行事の目的とすると、「将来のなりたい自分像について考える」「体力・精神力を育む」「郷土への感謝の気持ちをもつ」ということです。

寒い中、早朝7時30分に出発し、学校から桜山公園までの往復およそ15kmの道のりを、仲間と一緒に黙々と歩きました。驚いたことに、弱音を吐いたり、座り込んでしまったりする生徒は一人もおらず、全員が立派に歩ききりました。むしろ、皆で励まし合いながら、楽しく歩く姿が見られました。あるいは、一人一人が志を立てるという趣旨を理解していたのだと思います。「2年生もずいぶんたくましくなったな・・・」と感激しました。

山頂までもう少し！

桜山に到着後は、鬼石支所・桜山を管理している方の皆さんに準備していただいた冬桜の苗を植樹しました。天候にも恵まれ、立志にふさわしいすがすがしい一日になりました。

2人で1本植樹しました

今年度は、保護者の皆様にも、一緒に歩いてもらったり、植樹をしたりしていただきました。また、山頂での植樹の準備についてはPTA本部役員さんが支所の担当の方と連絡調整をしてくださいました。本当にありがとうございました。